

参考資料

市場管理運営業務に係る評価[令和2年度]

大阪府中央卸売市場指定管理者

大阪府中央卸売市場管理センター(株)

指定管理者[管理センター(株)]

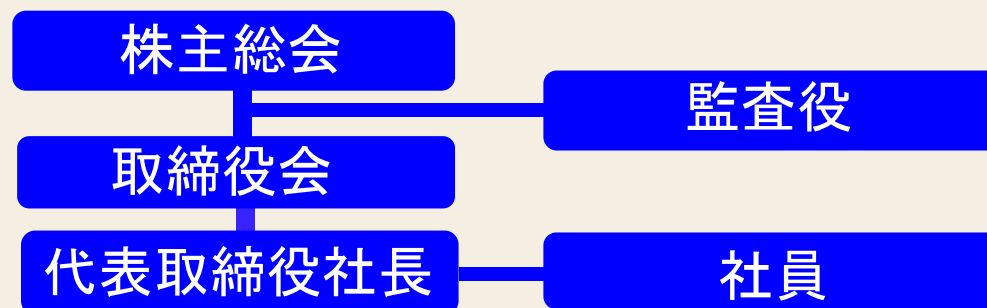
■ 目的 卸売市場の管理運営及び市場の活性化に関する調査研究、
情報提供

■ 資本金 1,200万円(H23.9.7設立)

株主: 4卸(青果2社、水産2社)、2仲卸組合(青果、水産)
株式数: 各20株、120株 出資金: 各200万円
議決権数割合: 各16.66%

■ 代表取締役 山口秀雄/大阪府水産物卸協同組合相談役

■ 組織体制図



■ 現員

職名	現員(人)	備考
代表取締役	1	非常勤
取締役	6	非常勤
監査役	1	非常勤
社員	7	正社員(5)嘱託社員(2)

経営方針

果実(利益)は必要最小限に抑え、市場に還元

事業の見直し・改革

収入の確保＝家賃滞納ゼロ、廃棄物を有価物で売却 など
経費の削減＝光熱水費、廃棄物処理費用の大幅削減 など

提案額を上回る新たな資金(財源)を確保

市場事業(活性化事業、修繕事業等)に投資・還元

5億7,500万円(H24-R2年度見込)

I 提案の履行状況

(1)施設の設置目的及び管理運営方針

評価 S

●施設の設置目的に沿った運営が行われているか

- 新鮮で安全・安心な生鮮食料品を適正な価格で安定的に供給する公共的使命が果たせるよう365日、24時間体制で管理運営
- 常駐代表者会議(毎月1回定例会)、「市場だより」等の媒体も活用し、すべての場内関係者が使命感を持って業務に従事

常駐代表者会議

■ 目的：市場の管理運営業務に係る重要事項について審議

■ 委員：場内事業者等の代表者等12名で構成

卸会社(4社)、仲卸組合(2団体)、食品流通センター(株)
北部冷蔵(株)、開設者、府食品衛生検査所、管理センター(株)

■ 議長：大阪府中央卸売市場管理センター(株)代表取締役

■ 事務局：大阪府中央卸売市場協会

●管理運営の効率化と迅速な対応がなされているか

民間ノウハウによる効率的でスピーディな対応とサービス向上

■効率的な運営によるコスト削減

- ▶少数社員、オールラウンドプレイヤー
- ▶冷暖房の個別空調化(ボイラーの廃止)(H25.4～)(▲800万円/年 皆減)
- ▶基本電力需給契約の見直し(H27.11～)(▲1,060万円/年 ▲17.7%)
- ▶新電力の導入(H29.7～)(▲6,100万円/年 ▲34.6%)
- ▶水道水のコスト削減(R3.2～)(▲150万円/年 ▲3.5%)
- ▶委託業務等の効率化とコスト削減
 - ・魚あら処理費用の無償化(H27.12～)(▲1,600万円/年) など

■スピーディな事業執行(緊急修繕、自然災害への対応など)

■現場主義(毎早朝ラウンドにより問題事象と現場ニーズをは握し、即実行)

●法令遵守の徹底と危機管理への対応が行われているか

公の施設の管理者として法令遵守を徹底

- コンプライアンスの強化(関係法令、社内規程、倫理、社会的規範の遵守)
 - ▶労働時間(外)の適正管理(タイムカード、三六協定の遵守等)
 - ▶健康管理(人間ドッグ、予防接種等)
- CSRの取り組みの強化
 - ▶人権問題への取り組み
 - ・大阪府公正採用選考人権啓発推進員を任命・配置
 - ・茨木地域及び府内人権推進団体等への参画、協力
 - ▶環境対策、障がい者雇用、コミュニティ活動等に対する支援等
- 研修への積極的参加(5回、5人)
- 情報保護、情報公開への積極的な対応(開架資料の常設)
- 法務、財務・会計処理のチェック(顧問弁護士・公認会計士)

危機管理への対応

- 危機事象に365日、24時間体制でスピーディに対応
- 災害復旧対策従事者用備蓄食品・資材の導入(500セット)
- 災害対策用自販機の導入
- 消防・防災訓練の実施(年1回、場内業者等対象)
- 有資格者の配置
(防火管理資格者3名、防災管理資格者3名、自衛消防資格者4名)

●外注計画に基づく業務の発注が行われているか

■経済性・専門性・効率性が期待できる業務

- ▶警備・清掃業務等46業務
- ▶対象業務の拡大と品質・サービス水準を向上し、低価格で契約

削減効果(年間)

▲1,862万円(▲4.5%) [府直営(H23年度)/R1年度]

■書面による府の事前承認

■履行の検証

- ▶業務報告書による検証(日報・月報)
- ▶現場、現地での確認、実地検査

●生鮮物流拠点機能強化のため、荷捌スペースの拡充などが図られているか

■仲卸業者・買出人向け

▶2階プラットホームの有効活用

- ・低温保管荷捌施設(青果)、量販店向け荷捌場(水産)
- ・水産エリア内での青果物使用等弾力的運用

▶青果買出人駐車場の有効活用

- ・業者毎に区画と利用時間を割り当て(蔬菜エリア拡張協議中)

▶近郊売場駐車場の再編による荷捌きスペースの確保(協議中)

■青果卸業者向け

▶大屋根の整備による荷捌きスペースの拡張(約3,000m²)

■青果外周道路等の整備によるスペースの確保(協議中)

■産地及び産地配送事業者のニーズ把握[意見交換会の開催]

■「再整備構想(案)」における最重点課題として検討

(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果

評価 S

● 施設の使用許可は公平公正に行われているか

■ 公平・公正・透明性を担保

「大阪府中央卸売市場業務規程」
「大阪府中央卸売市場施設の使用許可基準」

[許可等の実績(R3.1)]

指定、許可件数	485 件
駐車場許可件数	1,709 件

■ 空施設、空き区画は公募により選定

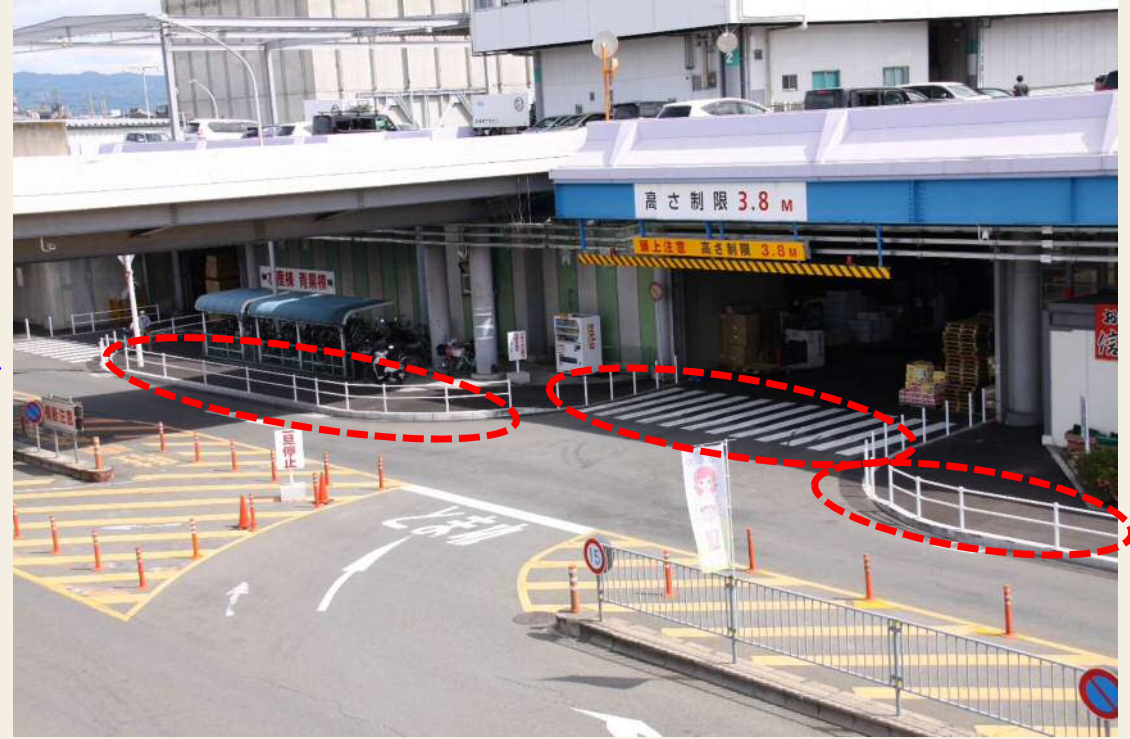
▶ 青果仲卸空店舗の公募による入居(3月1日～)

●不適切な施設使用の是正指導の強化等によるスペースの有効活用

是正指導等

- 毎早朝のラウンドによる現場指導(口頭)
- 不法駐車・不法占有物件への警告ステッカーの貼付
- 所有者・事業主に対する文書警告
- 物理的手段(ガードレール・ポールコーン等)による排除
- 法的措置(行政代執行・支払督促手続)による空店舗の活用・適正利用

空店舗・駐車場等への誘導と適正利用



(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 **評価 A**

●稼働率向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか

■売場及び事務所

- ▶入居者募集のホームページの更新・改善
- ▶手狭な既存業者への利用の働きかけ
- ▶不法占有の是正による空店舗、駐車場への誘導
- ▶仲卸事務所使用許可基準の緩和
- ▶関連店舗の加工場への転用
- ▶失踪業者に係る行政代執行による原状回復

[実績] (%)

	目標稼働率	実績値(R2年度)	達成率(R2年度)
仲卸店舗	96.0	97.6	101.7
仲卸事務所	80.0	78.0	97.5

■ 駐車場

- ▶ 不法駐車の有料区画への誘導
- ▶ 有料区画のサービスの向上(拡幅工事)
- ▶ 新規有料区画の整備
- ▶ 場外者の有料区画への誘致の検討

[参考]稼働率:87.5%

●府市場が果たしている役割、機能のPRを実施しているか

■ホームページによるPR

■特色ある市場見学会[新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中]

▶魚に触れ合う食育を重点

▶見学対象者を拡大(一般・外国人も受け入れ)

■市場開放デーの開催[新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止]

■食育活動等を通じてのPR

▶お魚出前料理教室、産地とのコラボ、大学連携事業、こども食堂 など

▶認定食育アドバイザー、トータルフードコーディネーターの活用

■事業連携大学とのコラボ

■販促イベントを通じてのPR

■広報大使せりちゃんの活用・販促グッズの製作・提供

コロナ禍での創意工夫を凝らした新たな取り組み

- ▶連携大学とのタイアップによる「ZOOM」市場見学会
- ▶一般消費者向けのオンライン産地見学会[飛騨蔬菜出荷組合](4回開催)
- ▶オンライン食育会議(3回開催)
- ▶大学オープンキャンパスでの産地食育活動(5回開催)
- ▶青果・水産産地コラボ調理実習[全国初の試み]
- ▶水産・青果産地と市場とのオンライン商談会の開催
- ▶量販店での産地フェアの開催(みのおキューズモール)
- ▶大阪モノレールサンクスフェスタでの食育活動
- ▶大阪モノレール「ブルーエール号」へのクラウドファンディング
- ▶鳴門ワカメ配布等による産地、市場PR(41団体、11,474セット)[R3.2]
- ▶民間団体会報(関西旅の会等)による市場紹介

「ZOOM」市場見学会[追手門大学]



飛騨蔬菜出荷組合 オンライン産地見学会 2020年9月20日(日)

追手門学院大学 村上喜郁ゼミ

追う力 × お家から プロジェクト・チーム



オンライン産地見学会 [飛騨蔬菜出荷組合]

栽培の工夫(1)

ていしよく
・定植を採用

ポットに種をまき(播種)
苗を苗床から移して、畑に植える。

・雨除けハウスの設置

温度管理だけでなく、
水分量を調節するための
ビニールハウスを使用している。



【POINT】トマトづくりには水の量が重要

5





オンライン産地見学会[飛騨蔬菜出荷組合圃場]





オンライン食育会議[飛騨出荷組合 × 追手門大学 × 市場]

産地と連携した授業
[徳島県水産物 & 岐阜県飛騨野菜 × 梅花女子大学]



産地と連携した授業
(鳴門わかめの魅力に迫る)



配布セット
(41団体、11,474セット)



徳島県産の
美味い鳴門わかめを
お届けします。

徳島県が認証した
「鳴門わかめ」は
このマークが目印

徳島県が認証した鳴門わかめ

産官学連携

梅花女子大学 × 徳島県 × 大阪府中央卸売市場

2017年、産官学連携を結んだ梅花女子大学と大阪府中央卸売市場。これまでに、各地の特産品や旬の食材を使った新しいレシピの開発や、商品開発、食育講座など、多くの連携事業を遂行してきました。今回は、新しい一歩に踏み出した食の発展、健康増進とつながり、その魅力を紹介します。

梅花女子大学と大阪府中央卸売市場の「産官学連携」

「産官学連携」は、産地・官公庁・学識者の連携による、食の発展・健康増進を推進するための取り組みです。梅花女子大学と大阪府中央卸売市場は、この取り組みを通じて、食の発展・健康増進を推進しています。

連携事業1
特産品から徳島県を徹底解剖！

連携事業2
「鳴門わかめ」の魅力に迫る

連携事業3
食育講座も体験講座
梅花オープンキャンパスで鳴門わかめPR

梅花オープンキャンパスに、徳島県の特産品「鳴門わかめ」が登場。会場内外の来場者から食の発展・健康増進につながり、食育講座に、鳴門わかめがメインメニューとして登場。鳴門わかめは、食の発展・健康増進に貢献しています。

梅花オープンキャンパス
梅花女子大学

大阪モノレールサンクスフェスタ

車両基地イベント!
ミニトレイン、ステージなど
お楽しみイベント
盛りだくさん!

大阪モノレール
開業30周年記念

大阪モノレール
開業30周年記念
特別車両 特別列車

**大阪モノレール
THANKS
フェスタ**

2020.11.3 (火)
午前 10:00~12:30 / 午後 13:30~16:00

開催場所
大阪モノレール万博車両基地内
(万博記念公園駅下車徒歩5分)

※雨天決行。天候により、開催内容が変更される場合があります。

本イベントでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止
対策を打っておりますので、あらかじめご理解とご協力
をお願い申し上げます。詳しくは、会場をご覧ください。

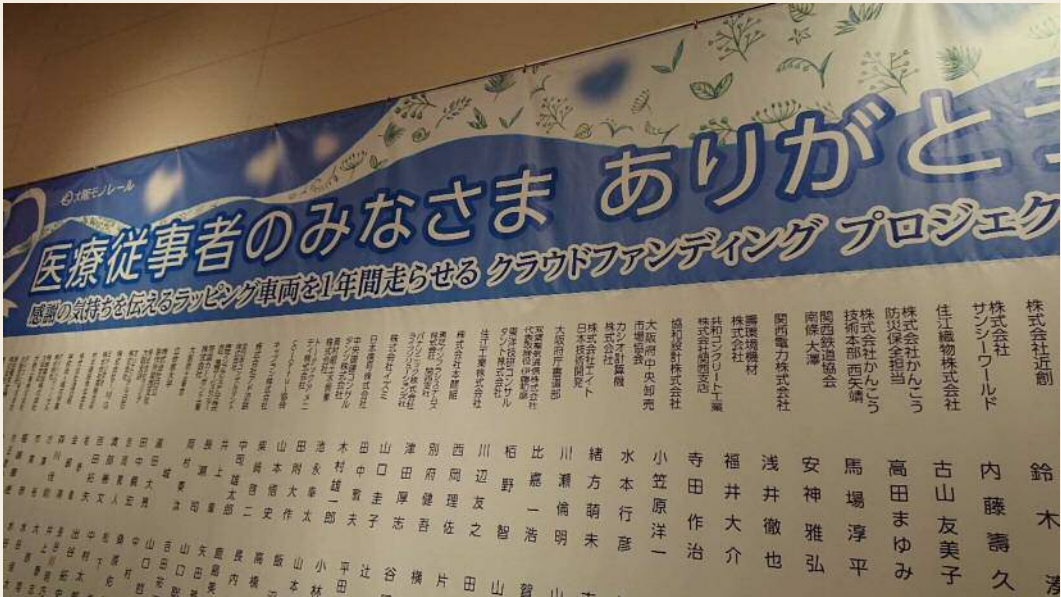
大阪モノレール株式会社 総務課 06-6170-4826

お問い合わせ 大阪モノレール株式会社 総務課 TEL: 06-6170-4826

主催 大阪モノレール株式会社 協賛 万博記念公園 協賛 万博記念公園 協賛 万博記念公園



大阪モノレールブルーエール号
[クラウドファンディング]



(4)サービスの向上を図るための手法・効果

評価 S

●市場の活性化を図るための取り組みが計画に基づき実施されているか

ニーズを踏まえ4分野,16項目を重点にハード・ソフト事業を推進

I 魅力ある市場づくり

II 川上・川下との連携強化

III 情報発信機能の強化

IV 指定管理者制度の活用

I 魅力ある市場づくり

1 場内事業者による市場施設等再整備構想(案)の策定

2 安全・安心・清潔な市場づくり

3 荷捌きスペース等の確保

4 スマート市場づくり

5 産地配送車両の利便性向上

1 場内事業者による市場施設等再整備構想(案)の策定

現 状

- 昭和53年開場
- 開設区域人口:417万人
- 事業費:267億円
 - 用地費: 35億円
 - 建築費:232億円
- 敷地面積:201,351㎡
- 取扱高10位/65
 - 数量:241,700トン
 - 金額:89,541百万円

課 題

- 取扱数量、金額の減少
 - ・数量(当初計画の30.9%)
 - ・金額(当初計画の25.9%)
 - ・売上げ高割使用の減少
- 物流動線が輻輳、非効率
- ウイング車が不対応
- コールドチェーンが寸断

川上・川下から敬遠

目指すべき将来像

- 閉鎖型施設への転換
(卸・仲卸売場の低温化など)
- ハブ市場としての機能強化
- 流通の効率化
 - ・ハブアンドスポーク
(転送・中継拠点)
 - ・積み下ろし時間の短縮、
 - ・待機場所の確保
- 量販・輸出対応用の荷捌き
スペースの確保
- 平屋型冷蔵施設の整備
(蔵貸への転換)
- 買出人、配送、マイカー車
の利用区分の明確化

整備構想の策定、事業化

競争力ある市場

検討体制

常駐代表者会議

整備構想策定検討委員会
事務局:管理センター
構 成:委員30名

青果分科会
構成:卸会社(2)
青果仲卸組合等
[4回(通算14回)開催]

水産分科会
構成:卸会社(2)
水産仲卸組合等
[4回(通算13回)開催]

R2年度内に素案を策定

2 安全・安心・清潔な市場づくり

(1) 美化キャンペーンの啓発

(2) 大掃除の充実

(3) 仲卸店舗屋根清掃

(4) 仲卸店舗天板塗装

トイレの全面改修

88か所[管理C (69か所)、大阪府 (19か所)]



改修後内部



改修後外観



洋式ウォシュレット



仲卸店舗天板塗装



(5) 不法投棄の防止

■ 防犯カメラによる常時監視(防犯カメラ管理要綱)

[設置実績]

- ・R2年度 11台
- ・H24-R2年度 171台(管理C158台、府13台)
- ▶ 毎早朝ラウンド、発見次第場内放送でアナウンス
- ▶ 映像を解析し、投棄者特定の協力要請(ビラ・画像等配布)
- ▶ 悪質事案は警察へ告発(逮捕2件)

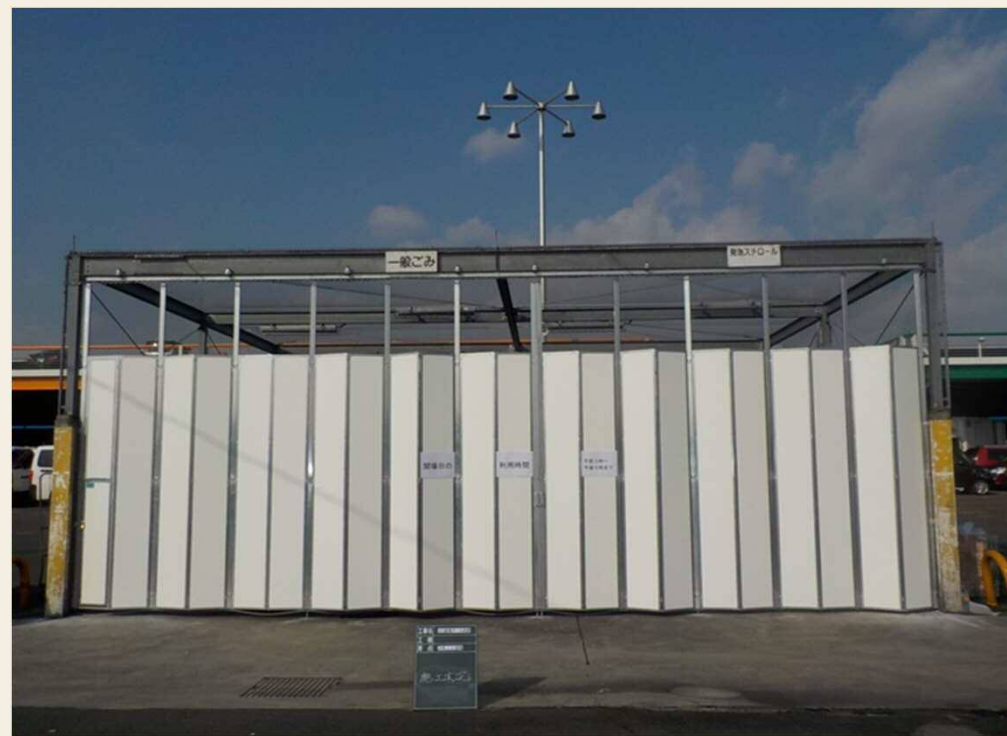
■ ごみ集積場ゲートの設置(5か所)

■ ごみ集積場利用時間の制限(24時間 ➡ 3:00-17:00)



不法投棄激減 ➡ 軽微な事案10件程度/月(▲90%以上) ➡ 汚名返上

ゲートの新設



(6) ごみの分別、減量

■ 分別用ごみ箱の設置(23か所、60個設置)

■ リサイクルの促進と産業廃棄物としての処分

□ リサイクルの促進

▶ 木製パレット ➡ チップ

▶ 青果くず ➡ 堆肥

▶ 魚あら ➡ 魚粉(養殖業)魚油(畜産業)

▶ 発泡スチロール ➡ インゴッド(プラスチック用品)

▶ 段ボール、古紙 ➡ 段ボール、製紙

□ 産業廃棄物として適正に処理(H28年度～)

▶ 粗大ごみ、プラ製廃パレ、蛍光管、水銀電池等は産廃として適正処分

(7) 禁煙・分煙の徹底

- ポスターによる啓発
- 社員によるラウンド、吸殻拾い
- 禁煙講習会の開催
- 炎感知センサーの設置[60か所]
- 喫煙コーナーの整備[13か所(BOX7か所)]
- 喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱の制定[H30.4.1施行]

- ・喫煙場所の指定(喫煙コーナーの整備)
- ・禁煙指導員の任命(47名)
- ・ルール違反者に対する入場禁止の行政処分

[違反累計(H30年度～R2.2)]

通告(違反1回)243件、警告(違反2回) 24件、入場禁止(違反3回) 0件

(8) カラス駆除

- テグス、防鳥ネットによる売場等への侵入防止
- 鷹匠による追い払い
- 市の許可を得て捕獲
 - ▶ 魚あら集積場
 - ▶ 固定式捕獲器の新設(R2.12)

[捕獲実績(R2.2末)]

- ▶ 魚あら集積場 64羽
- ▶ 固定式捕獲器 96羽

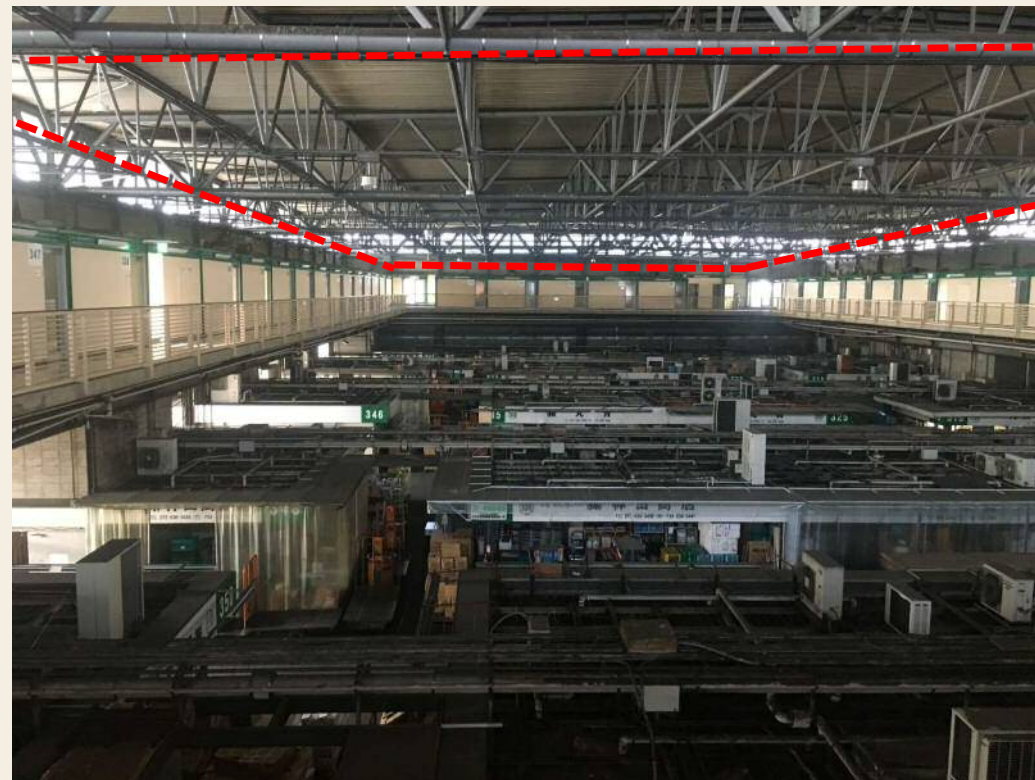


(9) ハト防除

■ 青果仲卸店舗防鳥ネットの新設

[施工実績]

▶9,600㎡(3,200㎡/棟×3棟)



(10) そ族等駆除、野良猫保護

(11) 不法駐車、不法占有の排除

- 現場指導の強化
- 不法駐車車両へのステッカーの貼付
- 駐車ガードレール・ポールコーンの設置

(12) 防犯対策の強化

- 夜間防犯パトロールの強化
- 防犯カメラによる監視強化
- 警察への通報、告発

過去3年間窃盗事件0

(13) コールドチェーン化の推進

- 動力電気容量アップ(低圧幹線工事)
- 事業者による低温加工施設整備への支援
 - ▶ 水産・青果仲卸低温加工施設(定借方式)
 - ▶ 青果卸業者による整備(近郷売り場の活用)
 - ▶ 青果仲卸低温加工施設(2階プラットフォーム)
- 水産仲卸売場(6,700m²)の全面低温化基本計画の策定(H30.12)
 - ▶ 事業費 約10億円(鮮魚・塩干売場)
 - ▶ 設計値 [40°C ▶ 25°C、湿度95% ▶ 65%]

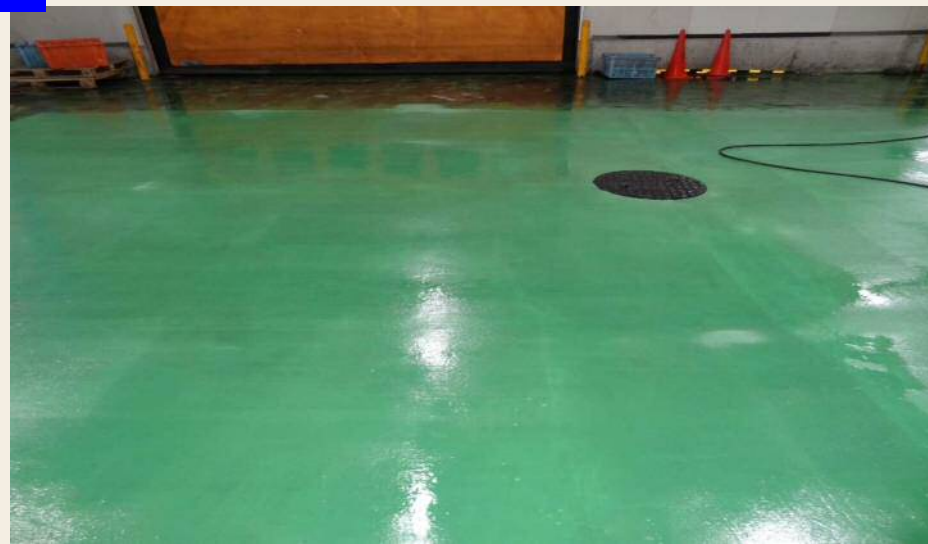
費用対効果等を踏まえ、検討委員会での審議、大阪府等と協議

低温化設備導入支援補助制度の導入検討(大阪府)

(14) 水産セリ場床面全面改修



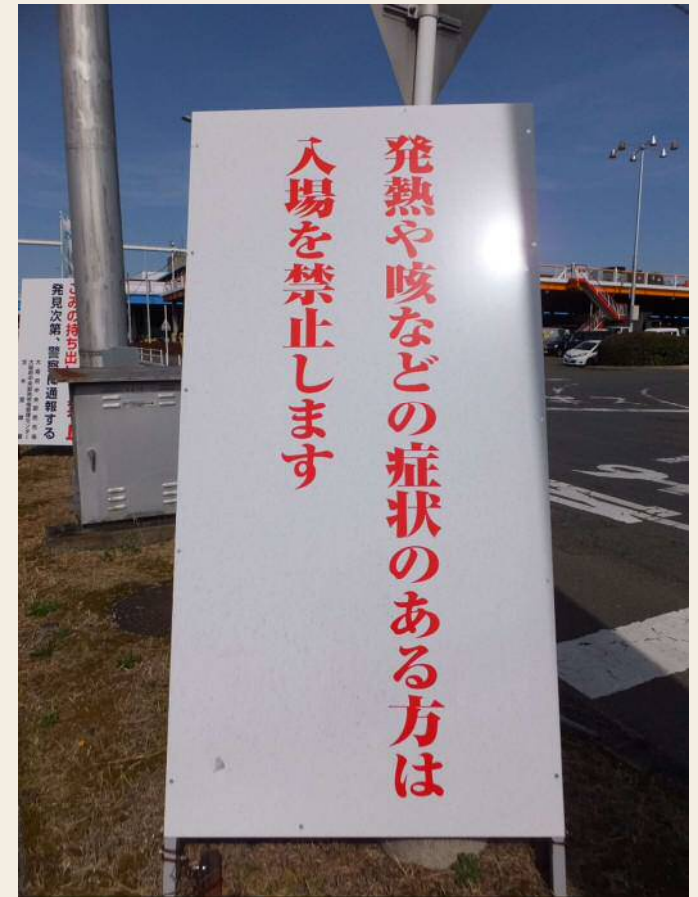
約1,508㎡



(15) 新型コロナウイルス感染予防対策

- 入場者に対する注意喚起看板の設置
- 消毒薬等の備蓄
- 飛沫防止仕切板の設置

入口4か所に設置



3 荷捌きスペースの確保[再掲]

4 スマート市場づくり

■ 節電促進、キャンペーンによる啓発

■ 既存照明のLEDへの転換

[設置実績]

- ・R2年度 351台
- ・H24-R2年度 3,435台

■ 燃料電池需給契約

- ▶2015.3.9運転開始
- ▶1,200KW(日本最大)
- ▶CO2:1,615t/年(▲29.1%)
- ▶災害・停電時の電源維持
- ▶場内消費電力の約50%をカバー

5 産地配送車両の利便性の向上

- 卸会社荷下ろし場の明示
- 産地配送事業者との意見交換会の開催(予定)



Ⅱ 川上・川下との連携[一部再掲]

1 川上との連携

- 産地勉強会・意見交換会の開催
- オンライン産地見学会の開催
- 産地販促事業とキャンペーンの実施
- 幼稚園、連携大学での講座・オープンキャンパスでの食育活動
 - ▶ 認定食育アドバイザー、トータルフードコーディネーターの活用

2 川下との連携

■量販店での販促、市場PR

- ▶ゆるキャラを活用した産地フェアの開催等

■百貨店での販促、市場PR

- ▶事業連携大学とタイアップした産地フェアの開催等

Ⅲ 情報発信機能の強化[再掲]

- 料理教室の開催
- 市場見学会の充実
- 広報活動の強化
- 市場開放デーの充実
- 小売・量販店の広報支援
- 市場内への外部活力の導入

■食に関する情報発信[産官学連携体制]

連携大学

大阪府中央卸売市場管理センター(株)(大阪府中央卸売市場)

消費者

産地・食材を知る。新たな価値に気づく。
消費がひろがる。日本の食文化を大切にする。

新しい商品開発・サービス提供・イベント・食育など

大阪府中央卸売市場

管理センター(株)

量販店

生産地

市場・売場などの場
食材・作り手・題材など

人材・学術の連携・提供

学生・教員・企画など
オープンキャンパス・学園
祭・学食などの場

追手門学院大学

梅花女子大学

大阪成蹊学園

IV 指定管理者制度の活用[一部再掲]

■ 診療所事業持続化支援

- ▶ 運営経費の一部助成(6か月間)

■ 入居者募集の営業活動

- ▶ 新たな店舗棟の誘致(関連事業者の仲卸事務所への入居)

■ 災害時緊急対応資材、食品等の備蓄

- ▶ 飲料水、食材、マスク等の備蓄

活性化事業費

■提案額 70,000千円/年

■実績額[見込]

▶R2.4-12実績額 34,626千円(税抜)

▶R3.1- 3見込額 50,409千円(税抜)

▶R2年度見込額 85,035千円(税抜)

【千円、税抜】

1期						
年度	24	25	26	27	28	計
実績額	58,970	112,292	118,705	118,008	97,452	505,427
提案額	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	290,000

2期					
年度	29	30	R1	R2見込	計
実績額	85,819	94,860	73,847	85,035	339,561
提案額	70,000	70,000	70,000	70,000	280,000

累計(H24-R2)	
844,988	実績-提案
570,000	+274,988

活性化寄付金

■市場全体の事業の用に供する資産は府に寄付

□寄付物件

サイン塔、防護柵、防犯カメラ、駐輪場、昇降機、喫煙ボックス等

□寄付額(千円:税抜)

1期					
年度	25	26	27	28	計
実績額	35,189	36,308	2,906	26,552	100,955

2期					
年度	29	30	R1	R2見込	計
実績額	45,510	37,153	10,601	20,362	113,626

累計 (H24-R2)
214,581

●市場設備のコールドチェーン化を推進する取り組みをしているか[再掲]

(5)施設の維持管理の内容、的確性、実現の程度

評価 S

●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか

■年間計画に基づき計画的・迅速に実施

●施設の維持管理のための修繕工事が積極的に実施できているか

■提案額 60,000千円/年

年 度	24	25	26	27	28	1期計
件 数	237	290	271	281	290	1,369
実績額	50,819	117,747	68,752	104,559	119,157	461,034
提案額	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000

年 度	29	30	R1	R2見込	計	総計(H24-R2年度)		
件 数	240	290	230	240	1,000	実績額	707,480	実績-提案
実績額	100,500	83,517	62,429	74,149	320,595	提案額	490,000	+277,480
提案額	60,000	60,000	60,000	60,000	240,000			

●府が実施する計画修繕を府の依頼により効率的、効果的に実施できているか

■民間ノウハウを活用し、一層の効率性を発揮

■R2年度事業見込み(税抜)

▶2件、56,400千円

[課題] 事務量の増加と事務費等の負担増

[事業実績]

[千円:税抜]

年 度	26	27	28	1期計			
件 数	1	5	4	10			
事業費	60,000	215,370	133,113	403,483			
年 度	29	30	R1	R2見込	計	総計(H24-R2年度)	
件 数	3	3	1	2	9	件数	19
事業費	63,200	132,700	44,000	56,400	296,300	事業費	699,783

(6)府施策との整合

評価 S

●府事業、公共事業に協力しているか

■大阪府主催イベントへの協賛・協力(インセンティブの付与等)

- ▶健康づくりアワード(知事賞等過去5回協賛)
- ▶職場で健活10大賞(新規事業)

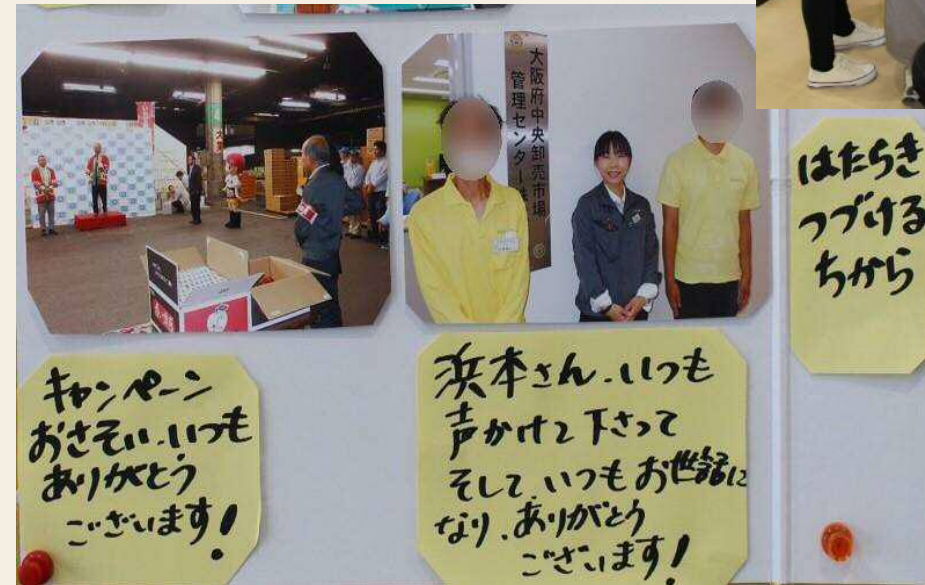
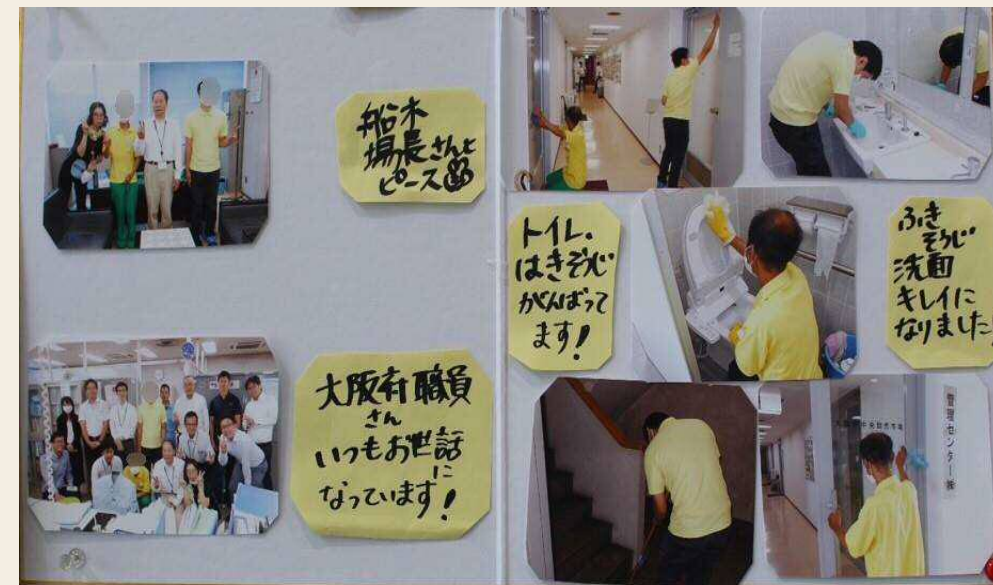
■あいりん地区日雇労働者清掃事業

■Nox規制適合車調査

●行政の福祉化に貢献しているか

知的・精神障がい者の就労支援

- ▶知的・精神障がい者の管理棟での清掃訓練(50名就労)
- ▶清掃委託業務での知的障がい者の雇用要請(2名)
- ▶エルチャレンジ、C-STEPとの連携



●府民、NPOとの共同を推進しているか[一部再掲]

■大学・市民団体等との連携、協働

■こども食堂とのコラボ[茨木こども食堂・ベンポスタ]

●環境問題への取り組みができているか[一部再掲]

■廃棄物排出量の減量

■廃棄物のリサイクル

□PPバンド、ストレッチフィルム、廃プラ、鉄、段ボール

[4-1月売却益 2,234千円(抜)]

□発泡スチロール

[4-1月売却益 5,140千円(抜)]

■照明設備のLED化の促進[351台(R2年度)、3,435台(H24～)]

■燃料電池需給契約、保守管理業務

廃棄物排出量・処理費用同期比(4月～1月)

単位:トン、千円(税抜)

	対前年度比		対23年度比(直営)	
	排出量	処理費用	排出量	処理費用
青果くず	▲82.16	▲1,479	▲404.73	▲13,123
廃パレット	▲185.03	358	▲370.19	1,753
一般廃棄物	▲337.23	▲1,978	▲4,530.50	▲26,370
汚泥	▲0.58	▲31	3.11	283
魚あら	4.30	—	▲749.28	▲13,810(皆減)
粗大ごみ	▲12.00	▲8	▲468.00	▲2,211
産業廃棄物	▲10.37	2,517(皆増)	41.17(皆増)	4,309(皆増)
水銀使用製品	—	—	—	—
計	▲623,07(▲12.6%)	▲621(▲1.7%)	▲6,478.42(▲60.1%)	▲49,169(▲58.3%)

Ⅱさらなるサービスの向上

(1)利用者満足度調査等

評価 S

●利用者調査の実施及び結果のフィードバック等が行われているか[一部再掲]

- 常駐代表者会議においてニーズ把握と事業へのフィードバック
- 「市場だより」において情報共有、周知
- 仲卸組合等との情報、意見交換
- 早朝のラウンドを通じてのニーズ把握とフィードバック
- 警備員による迅速な業務報告と問題解決
- ホームページご意見欄による府民の声の把握と業務に反映

(2) その他創意工夫

評価 S

● サービス向上につながる取り組み、創意工夫が行われているか [一部再掲]

- あらゆる問題事象に対しスピーディに対処
- 顧客である買出人駐車場の利用秩序の維持
- 営業時間の延長(7:00-17:00)
- 管理棟昇降機の更新、保守管理
- 災害対策用自販機の導入
- 災害対策対応職員用資材、食品の備蓄
- 金融機関、診療所(内科・外科・歯科)、薬局、鍼灸院等の誘致
- 利用料金の弾力的な運用(売上高割利用料金の料率減額)

[3.0/1,000 ➡ 2.5/1,000]



診療所



薬局



鍼灸院

Ⅲ 業務遂行の能力、財政基盤

(1) 収支計画

評価 S

● 事業収支は計画と比べて妥当か

- 収支均衡の取れた黒字基調
- 大阪府への納付金は契約どおり遅滞なく納付 [6億9,410万円/年]

(2) 人的能力

評価 S

● 事業実施に必要な人員が確保され配置されているか

- 少数精鋭のオールラウンドプレイヤーで臨機応変の対応
- 工事施工管理、電気技術、経理経験者も配置
- 顧客(市場関係者)から高い評価、苦情無し

●職員の指導育成、研修体制は整備されているか

- 人権、個人・企業情報保護、情報公開、労務管理、経理研修(R2年度5回参加)等に公費参加
- 各種資格、自己啓発の研修への一部補助

●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか

- 社長と毎早朝ミーティング(統括)により課題解決、方針決定
- 全社員のミーティングによる情報共有

(3)財政的基盤

評価 S

●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か

■平準化された業務量で過重労働なし

■経営規模、事業規模、組織規模は提案どおりで妥当

●財務状況は適正か

創業時より9期連続して黒字基調、健全財政を維持

[R2.1月次決算]

■営業利益(74,091千円)、経常利益(75,936千円)

■会社運営に適正な剰余金を計上(151,981千円)



ご清聴ありがとうございました

担当: 宮前 茂、濱本 佳代子
電話: 072-636-2001 FAX: 072-636-2003
e-mail: miyamae@osakafu-ichiba.jp